

新着案内

NO. 5

2023年3月

伊丹西高校図書館

スマホでみてね♪西高HP→



『地図と拳』(小川 哲)【第168回 直木賞受賞作】
【第13回 山田風太郎賞受賞作】
ひとつの都市が現われ、そして消えた。日露戦争前夜から第2次大戦までの半世紀、満洲の名もない都市で繰り広げられる知略と殺戮。日本 SF 界の新星が放つ、歴史×空想小説。

『この世の喜びよ』(井戸川 射子)
【第168回 芥川賞受賞作】

娘たちが幼い頃、よく一緒に過ごした近所のショッピングセンター。その喪服売り場で働く「あなた」は、フードコートで常連の少女と知り合う。言葉にならない感情を呼びさましていく芥川賞受賞作「この世の喜びよ」をはじめとした作品集。



『ワンダーランド急行』(荻原 浩)

会社をサボり、スーツで山に登った40歳の野崎修作。「日常」に戻ると、街も家も会社も、何かおかしい。どこかで聞いたような疫病が世界を分断し、新宗教の持つ票があらゆる選挙を左右する。ここは私のいるべき場所じゃない。私の世界へ帰るのだ！果たして元の世界へ帰れるのか？！

『方舟』(夕木 春央)

地震によって山奥の地下建築に閉じ込められた終一たち。水が流入しはじめ、地下建築の水没までおよそ1週間。地下建築から脱出するためには、9人のうち誰か1人を犠牲にしなければならない。そんななか、殺人事件が起こる。「週刊文春ミステリーベスト 10」&「MRC 大賞 2022」ダブル受賞作品。



『麦本三歩の好きなもの 第2集』(住野 よる)

新しい年になって、図書館勤めの麦本三歩にも色んな出会いが訪れた。真面目な後輩、謎めいたお隣さん、三歩に興味がなくもなさそうな合コン相手。そして、怖がりつつも慕ってきたひとりの先輩には「ある変化」が！？マイペースな彼女の、あいかわらずけどちょっとだけ新しい日々。気軽に読めてほんわか気分になれるシリーズ最新刊。

『教誨』(柚月 裕子)

遠縁の死刑囚・響子の身柄引受人に指名された香純と母は、刑の執行後、遺骨を受け取った。香純は、「約束は守ったよ、褒めて」という響子の最期の言葉の真意を探り始める。



『しろがねの葉』(千早 茜)

【第168回 直木賞受賞作】
戦国末期、採掘最盛期を迎える石見銀山。天才山師・喜兵衛に拾われた少女ウメは、銀山の知識と鉱脈のありかを授けられ、女だてらに坑道で働く。渦巻く欲望と死に抗って生きる女の生涯を描く。



『荒地の家族』(佐藤 厚志)

【第168回 芥川賞受賞作】
人が住み、出ていく。生まれ、死んでいく。あの災厄から10年余り。生活も仕事道具も攫われ、妻を喪った男はその地を彷徨い続けた。仙台在住の書店員作家が、止むことのない渇きと痛みを描く。



『心霊探偵八雲INITIAL FILE幽霊の定理』(神永 学)

「幽霊は人間の脳によって生み出される」数学者フェルマーの名を騙りネットに現れる怪しい3D 映像。幽霊マンションの怪、女子学生寮のポルターガイスト現象、深夜に鳴るピアノ。幽霊を透視する大学生・斉藤八雲と、数学の天才である准教授・御子柴岳人が対峙する複雑怪奇な連続事件。電脳空間に暗躍する謎の男の正体とは？八雲シリーズ最新作。



『螺旋の手術室』(知念 実希人)

読書メーター読みたい本ランキング第1位。驚愕のどんでん返し手術室での不可解な死。次々と殺される教授選の候補者たち。事件に秘められたある想いとは。慟哭の医療ミステリー。



『名探偵のままでいて』(小西 マサテル)

【第21回『このミステリーがすごい!』大賞受賞作】
かつて小学校の校長だった切れ者の祖父は、71歳となった現在、幻視や記憶障害といった症状の現れるレビー小体型認知症を患い、介護を受けながら暮らしていた。しかし、小学校教師である孫娘の楓が、身の回りで生じた謎について話して聞かせると、祖父の知性は生き生きと働きを取り戻すのだった！



『踏切の幽霊』(高野 和明)

都会の片隅にある踏切で撮影された、一枚の心霊写真。雑誌記者の松田は、読者からの投稿をもとに心霊ネタの取材に乗り出す。やがて彼の調査は幽霊事件にまつわる思わぬ真実に辿り着く。『ジェノサイド』の著者、11年ぶりの新作！



『海が見える家旅立ち』(はらだ みずき)

父が遺してくれた海が見える家が台風で被災した後、追い打ちをかけるようにコロナが蔓延。思うように日常生活をとりもどせない文哉は、心配する和海のすすめもあって旅に出ることに。シリーズ堂々の完結編。『海が見える家 逆風』のラストシーンの秘密も明かされる。



『居酒屋ぼったくり 1』(秋川 滝美)

東京下町にひっそりとある居酒屋「ぼったくり」。そこには旨い酒と美味しい料理、そして今時珍しい義理人情がある。旨いものと人々とのふれあいを描いた短編連作小説。簡単なつまみの作り方も満載。



『本好きの下剋上 ~司書になるためには手段を選んでいられません~』(香月 美夜)

幼い頃から本が大好きな、ある女子大生が事故に巻き込まれ、見知らぬ世界で5歳の女の子マインとして生まれ変わった。その世界では人々の識字率も低く、書物はほぼ存在しない。マインは決意する。ないなら、作ってしまえばいいじゃない！ビブリア・ファンタジー開幕！



『ミステリと言う勿れ 12』(田村 由美)『弱虫ペダル 81』(渡辺 航)『宇宙兄弟 42』(小山 宙哉)『ちはやふる 50』(末次 由紀)

※ 皆さんからのリクエストを受け付けています！



スマホでみてね♪西高 HP→

新着案内

NO. 5

2023年3月

伊丹西高校図書館

～社会科学～



『言いたいことを、人を動かす“ことば”に変えるすごい言い換え700語』(話題の達人倶楽部)
「言い換える技術」を身につければ、人間関係はよくなり、仕事はうまく進み、ひいては人生を大きく変えていく。自分が期待する結果を導くために、日常生活と仕事で使える、大人の言い換え例を多数紹介する。

『人が死なない防災』(片田 敏孝)

東日本大震災で津波に襲われた岩手県釜石市では、小中学生が主体的避難行動で自らの命を守った。震災前から釜石市で「防災教育」を行ってきた著者が、災害と対峙し生き抜く術を徹底公開する。

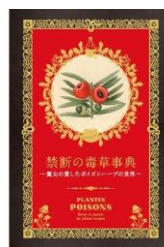


『「自分」の壁』(養老 孟司)

「自分探し」なんてムダなこと。「本当の自分」を探すよりも、「本物の自信」を育てたほうがいい。「バカの壁」から11年、養老孟司が脳、人生、医療、死、情報化社会等、多様なテーマを語り尽くす。

～自然科学～

『とことんエナガ、シマエナガ』(文一総合出版)
衣食住から、かわいさの秘密、その裏に見え隠れするあざとさまで、エナガとシマエナガの「鳥となり」を、野鳥のスペシャリスト集団が総力を挙げて紹介します。かわいらしい写真も満載。鳴き声を聴けるQRコード付き。



『禁断の毒草事典 魔女の愛したポイズンハーブの世界』(エリカ・ライス 著・和田 浩志)

妖しく、奥深い毒草の世界へようこそ。チョウセンアサガオ、ペラドンナ、ドクニンジン、スズラン、ジャガイモなど、有毒植物の生態と、その毒から身を守る方法を、美しい図版とともに紹介する。

『はまると深い! 数学クイズ 直感力・思考力を磨く』(横山 明日希)

ユークリッド、オイラー、フィボナッチ。日常のなかの数学から歴史的難問まで、古今東西さまざまな数学者の発見や工夫を体感できるクイズを掲載する。ブルーバックスのWEBでの連載をもとにクイズ形式にして書籍化。



～文学～



『君たちが生き延びるために 高校生との22の対話』(天童 荒太)

幸せになるには、自分を大事にして生きることが大前提。では「自分を大事にして」とはどんなことか? 「生」の意味を問い続ける作家が、若い人たちへ、生き延びるために必要なヒントを伝える。

『ラノベ古事記 日本の神様とはじまりの物語』(小野寺 優)

アマテラスとスサノオの姉弟仲がアツい! クシナダヒメのツンデレぶりがヤバい! 女神のカムムスピノカミはオネエだった! 古事記をラノベ風に記述した本。古事記のストーリーを知ることができる。



『有名すぎる文学作品をだいたい10ページくらいの漫画で読む。』(ドリヤス工場)

太宰治の『人間失格』や芥川龍之介の『羅生門』など、誰もがタイトルを一度は聞いたことがあるような文学の名作や童話をコミック化。水木しげるに似たタッチで描かれて、シュールでコミカルな感じが味わえる。

～その他～



『ミニキャラの描き方「ちまっとかわいい」を描く基本&表現テクニック』(夢ノ内 千春)

ミニキャラをかわいく描く方法を解説。基本的な描き方、表情とポーズの表現、ファッションと小物の表現、色の塗り方、作品制作のプロセス、テーマ別デザインガイドなどを収録。素体ポーズのダウンロードサービス付き。

『アイドルについて葛藤しながら考えてみた ジェンダー/パーソナリティ/く押し』(香月 孝史)

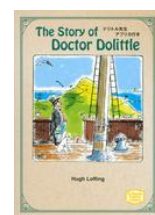
多様な実践が人気を集めるアイドル。だが、恋愛禁止などアイドルに抑圧を強い問題も存在する。アイドルの面白さと可能性、困難と問題性について、肯定・否定ではなく「葛藤しながら考える」ことの可能性を拓くための試論集。



～キミも英語多読に挑戦しよう!～

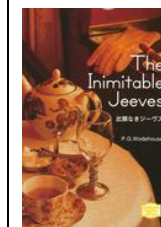
★多読とは?

やさしすぎるくらいの本から始めて、読む楽しさを味わいながら、とにかくたくさん本を読むことで、英文が読めるようになります。ゆっくりでもいいので、すこしずつ始めていきましょう。



『ドリトル先生アフリカ行き』(講談社英語文庫)(Lofting, Hugh John)

動物と話のできる名医ジョン・ドリトル先生は、サルたちを恐ろしい疫病から救うために、アヒルのダブダブや犬のジップ、ブタのガブガブらを引き連れてアフリカに向かいます。78年刊に次ぐ新版。



『比類なきジーヴス』(講談社英語文庫)(Wodehouse, Pelham Grenville)

青年貴族パーティに降りかかるさまざまな事件や災難を、執事のジーヴスが天才っぷりを発揮して見事に解決! イギリスのユーモア小説の名作を、英文の原書で楽しめる一冊。わかりやすい日本語注釈付き。